

1 ~ 7 省略

8 2008年2月27日の北海道新聞に、次の記事が掲載された。この記事の扱っている内容について、授業で得た知識をもとにして解説し、議論、批判せよ。また、この記事の記述中における数値にすべて誤りがないものとして、下線部のギョーザの安全性についても議論せよ。

(記事 URL) <http://www.hokkaido-np.co.jp/news/life/78530.html>

(記事タイトル) メタミドホス摂取に許容量 食品安全委が設定

(記事内容)

内閣府の食品安全委員会農薬専門調査会は27日、有機リン系殺虫剤メタミドホスについて、1度に摂取しても人の健康に悪影響が出ないとされる量を、体重50キロの人の場合、1日当たり0.15ミリグラムと設定した。

同時に、毎日摂取し続けても健康に影響のない量(1日摂取許容量)を、体重50キロの人で0.03ミリグラムと設定。中国製ギョーザ中毒事件を受けた措置で、一般から意見を聞いた上で、同委員会が厚生労働省に通知する。同省はこれを基に食材ごとの残留農薬基準を定める。

海外の動物実験データなどを検討した調査会は、動物で急性神経毒性がみられなかった量の、さらに100分の1の体重1キロ当たり0.003ミリグラムを、急性毒性が心配されない量とした。

中国製ギョーザ中毒事件では、千葉市のギョーザから130ppmのメタミドホスが検出されており、ギョーザ1個に約1.8ミリグラム含まれていた計算。体重50キロの人の場合、急性毒性が心配されない量の12倍になる。